

第 12 回 奈井江町まちづくり町民委員会 議事録（要旨）

【日 時】 平成 30 年 6 月 4 日（月） 午後 6 時 05 分～午後 7 時 55 分

【場 所】 役場 3 階 大会議室

【出席者】 委員～8 名（欠席 7 名） 町～10 名

委 員	太田裕治	○	中村尚子	×	村井啓介	○	藤由 均	○	橋本ミエ	○
	萬 由美子	×	長屋高史	×	大澤耕一	○	梅本てる子	○	北 準一	×
	三原 新	○	鈴木 雅之	×	佐藤 唯	○	田口友子	×	福塚智美	×
町	北町長、相澤副町長、横山課長、辻脇課長 事務局：碓井参事、井上主幹、谷口係長、田宮主査、吉田主事、佐々木主事									

1. 開会 碓井参事

皆さん、こんばんわ。

本日大変暑くなりましたが、一日のお仕事等大変お疲れのところご出席をいただきましてありがとうございます。

定刻になりましたので、まちづくり町民委員会をはじめて参りたいと思いますが、今回から企業や団体等の役職等の交代がございまして、北海道住電精密の村井さん、老人クラブ連合会の北さん、子ども園の保護者会から藤由さん、3 名の方に加わっていただいております。

町長からまず委嘱書を交付させていただきます。

2. 委嘱書交付

【委嘱書町長より交付】

3. 委員長あいさつ

皆さん、お暑い中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

もう 6 月になりまして、日も長くなりまだ明るくて、前は真っ暗の中やっていた記憶もありますが、今日は、明るいうちに帰れるよう頑張っていきたいと思います。

本日は、まちづくり計画の最後の部分の検証に入りますが、どうぞよろしくお願いいたします。

今回から 3 名の新しいメンバーが加わり、本日は 2 名のご出席がありましたので自己紹介をお願いしたいと思います。

それでは、今日 1 日よろしくお願いいたします。

それでは、議事に入っていきたいと思いますが、町政運営等に関する主な動向について町長お願いいたします。

4. 町長 あいさつ（資料 1 町政運営等に関する主な動向を兼ねて）

皆さん、こんばんは。

日頃より町政の推進にご協力をいただきましてありがとうございます。

また、本日は、夜分お疲れのところお集まりをいただき、重ねてお礼申し上げます。

それでは、最近の「町政運営に関する動向」について申し上げます。

最初に交通安全についてですが、4 月 6 日から 15 日まで「春の交通安全運動」が行われ、肌寒い中、早朝より、延べ 900 名の町民の皆さんが街頭啓発にご参加いただきました。

皆さまには敬意と感謝を申し上げます。

また、4 月 10 日には、文化ホールにて「交通安全町民大会」を開催し、約 170 名の町民や事業所、団体の皆さんが集まり、交通安全への誓いを新たにいたしましたところでございます。

また、多くの皆さんにご協力いただく中で、「交通事故死ゼロ 900 日」を達成し、今後も、1,000 日を目指して、決意を新たに、より一層交通安全意識を深め、交通事故のない安全なまちづくりに努めて参りたいと考えております。

次に、5 月 1 日に行われた、「全町一斉クリーン作戦」ですが、子どもたちの発案で始まったこの取り組みも今年で 8 回目を迎えました。

今年も、小学生から高校生までの児童・生徒、町内企業や障がい者施設の方々のほか、一般参加者など約 500 名以上が参加し、町をキレイにしてくれました。

5 月 1 日から 6 日のゴールデンウィーク期間中には、奈井江町観光協会の主催で初めて行った「ないえさくら祭り」も昨年 12 月にリニューアルオープンした「ないえ温泉」や商店街とタイアップした企画の実施がされました。

期間中、桜が満開になったこともあり、延べ約 10,000 人の方が「にわ山」を訪れ、札幌や旭川を含め、町外から大勢の方にお越しいただきました。

桜の名所として知名度も上がり、四季を通じて楽しめる観光名所として、本町の活性化に繋がることと期待しているところであります。

5 月 27 日には、北海道住電精密で「芝桜まつり」が開催され、天候にも恵まれ大勢の来場者で賑わいました。

北海道住電精密については、今年、生産拡大を目的に新工場を建設し、来年 12 月に全面稼働開始を予定しています。

産業の活性化は、雇用の拡大や地域の活性化にもつながり、今後も地域を支える役割として一層期待しているところです。

また、5 月 24 日に開催された新社会人激励コンサートでは、各事業所におかれましても、雇用の拡大に努めていただき、開催以来過去最高の 51 人の新社会人が誕生したところです。

奈井江町にとっても貴重な人材ですから、若い方々にも「住みたい、住み続けたい」と思っただけのような魅力ある地域づくりに努めていきたいと考えております。

最後に農作物の状況ですが、今年の冬は、大変雪が多く、春の農作業を懸念していたところですが、作業も順調に進み、田植えもほぼ終わりを迎えようとしています。

今年も順調に生育し、良食味米比率が過去最高であった昨年をさらに超える出来秋となるよう願っているところであります。

本日も、前回に引き続き「第 6 期前期計画」の検証、見直しをし、「後期計画」の策定に向け、効率的、効果的な事業展開をして参りたいと考えておりますので、皆さんから、忌憚のないご意見を頂きたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(委員長)

町長ありがとうございました。

それでは、町長から説明のありました町政運営等に関する主な動向について何かご質問・子意見等あれば賜りたいと思っております。

今年は、「さくら祭り」や「芝桜まつり」などさくら恵まれている感じがしますが、これから盛り上がっていかれると思っています。

また、新社会人も 51 人と少し景気の良い話をさせていただきました。

議題の方もまさにそのような話になってくるかなと思いますが、町長への質問等については、ないということでこの部分については、閉じさせていただきます。

それでは、町長、副町長については、これで退席いたします。

それでは、さっそく議題に入りたいと思いますが、3 名の委員が新しくなりましたので、改めて町民委員会の状況について井上主幹から説明をしていただきます。

5. 議題

(1) 第 6 期まちづくり計画の検証について

活力ある産業の推進のために (1) 産地競争力のある農業づくりの推進 31 ページ ～ (3) まちの資源を活かした魅力ある観光の推進 35 ページ

【ふるさと農政課 辻協課長、ふるさと商工観光課 横山課長より説明】

(井上主幹)

今回、3名の委員の方が変わられましたので、改めて現在のまちづくり町民委員会の進捗状況について、少しご説明させていただきたいと思います。

現在は、まちの最上位計画であるまちづくり計画、他の市町村でいう総合計画に当たるものですが、この計画の進捗管理を行いながら、平成28年8月から分野ごとに施策の効果・検証を行ってきたところです。

今回は、その最後の部分、農業や商業の部分になりますが、その部分をメインとして効果・検証を行っていきたいと考えております。

来年度からは、まちづくり計画の後期計画の策定も進めていく予定です。

皆さんからたくさんご意見をいただきながら、後期計画を策定していきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(委員長)

それでは、さっそく進めてまいりたいと思いますが、31ページの産地競争力のある農業づくりの推進についてからということで、ふるさと農政課の辻脇課長から説明をお願いしたいと思います。

(委員長)

両課長ありがとうございました。

それでは、ふるさと農政課の所管、ふるさと商工観光課の所管に対しまして、若干意見交換を行いたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

何かある方いらっしゃいますか。

それでは、皆さんに聞いていきたいと思います。

(委員)

農業に関しては、正直わからないことばかりで、今回、勉強させていただきました。

お米は、農家さんが作っているものだと思ってましたが、行政と農家さんが二人三脚で作っているんだと感じました。

(委員)

道路を歩いていると、特別栽培米と書いてある旗があっちこっちに立っていますが、そこで作っているのが、「ゆめぴりか」なんですか。

(辻脇課長)

すべてが「ゆめぴりか」ではないと思いますが、その旗が立っているところでは、特別栽培という栽培方法で作っているほ場です。

特別栽培米というのは、農薬や化学肥料を慣行の半分の5割まで低減して作っているほ場ということになります。

(委員)

「ななつぼし」もあります。

栽培方法については、辻脇課長が言ったとおりなんですが、品種は「ななつぼし」と「ゆめぴりか」があります。

(委員)

店で販売するときには、特別栽培米「ゆめぴりか」だとか、特別栽培米「ななつぼし」ということで売っているんですか。

(委員)

多分、そうです。

ライスターミナルへの出荷段階からタンクも別で分かれて管理されています。

値段が全然違います。

(委員)

出荷したときに混ざらないんですか。

(委員)

それらを分けるため、ライスターミナルでタンクを増設して、細かく分けるようにしたところですよ。

(委員)

値段は高いのですか。

(委員)

特別栽培米は、高いです。手間暇もかかるし、肥料等も少なくしている分収量も少ないので、その分若干高いです。

絶対混ざらないように管理されています。

(委員)

ライスターミナルで混ざっていると思っていました。

(委員)

ライスターミナルでは、何十個にも分かれていて、品種ごと、タンパク量ごとなど細かく分かれています。30 か 40 くらいあると思います。

(委員)

わかりました。ありがとうございます。

(委員)

32 ページの部分で土地改良事業をやっていますが、始まりは大和とか白山の方で 20 年以上前だと思います。

そのときは、暗渠排水と用排水だけだったが、2 反とか 3 反とかの小さな田んぼがたくさんあって、現在は 1 丁田んぼになっていると思います。

昔、行った地区については、また、行くことはできないのでしょうか。

(辻脇課長)

一回行ったので終わりということではないと思います。

平成 9 年から白山地区から行ってきました。そこから継続して今年から新たに茶志内東 1 の工事に入りまして、茶志内東 2 は調査に入ったところです。

最近はというと、道の予算も厳しく同時に 4 地区だとか 5 地区を行ったことがありますが、現在は採択の部分で道の方針として同じ町内で同時に何地区も行うことがむずかしくて、どこかの地区が終わらないと新たな地区の追加ができないという状況です。

今後の予定については、茶志内東 2 のあと 3 地区ほど予定しておりますが、地区として要望があれば協議会の中で判断していくということになります。

(委員)

もし、要望するとなれば農業委員さんを通して行うことになりますか。

(辻脇課長)

土地改良センターへの要望ということになります。ただ、すぐに実施できるかというとなかなか難しい状況でもあります。

(委員)

35 ページの部分で、さくら祭りを今年から実施したと思いますが、行った方はわかると思いますが、車が交わせないと思います。

お祭りの際は、一方通行で整理していたようですが、普段は、数カ所しか交わす場所がないと思いますので、狭い道路をどうかしたらどうかと思います。

(横山課長)

現在、あの道路については、町道に認定されており、基本的に対面通行で一方通行ではありません。

昨年もイベントを実施しましたが、その際にも車の問題が一番だったので、今年は 14 号から登って 12 号におりる方向で警察とも協議し、警備員を配置した上で期間中に行いました。

しかしながら、通常期、従来から対面通行で行っていますが、第 1 展望台に上がるところは特に狭く、交わせる場所も数カ所ということですし、カーブも多く非常に厳しいのも事実です。

(委員)

差しあたって、交わせる場所を増やすだけでも随分違うのではないのでしょうか。

道路を全部広げるとなれば、莫大な費用がかかるし。

検討してみてもいいかな。

それと今回の部分には、載っていないですが、不老の滝というがありますが、昔、写真もみて行ったときは、滝がきれいに見えたが、数年前に行ったときは藪で滝が見えない状態だった。

奈井江の PR になるかわからないけど、見えるようにしたらいいと思います。

(橋本)

不老の滝の手前に三段の滝というのもあって、高校生時代はそこで炊事遠足をしたところがありました。

(辻脇課長)

不老の滝までの道路については、町道 15 号線をひたすらまっすぐ山に向かっていくんですが、最初は道道（道有林の林道）になっていて、そこを抜けると町有林の林道になっています。今年もその道有林のところが、がけ崩れになっていて我々もまだそこまで行けていない状況です。

(碓井参事)

とにかく、いろんな意見が昔からあったと思いますが、距離が長い中で管理者もそれぞれ違って、20 キロの道路整備をするとなると莫大な金額がかかるということもあります。

それと毎年林道の管理ということで農政の担当が確認にいきますが、必ず、どこかしらで崩れているという状況ですが、そこを期間をかけて修復しています。

そういう状況の中で、美唄山の登山や山菜採りなどで利用している方が多いようです。

(委員)

さくら祭りに携わって、お客さんの反応や商店街の様子を聞いてみると、意外と街場の飲食店などでもにぎわいを見せていたみたいです。

パンフレットなどもかわいい出来上がりで、それも好感が持たれていたようです。

にわ山だけでなく、商店街でも賑わいを見せていたことは、非常に良かったと思います。

道路の件も交わす場所も少ない状況でしたが、一方通行で行い、とりあえずは、スムーズに実施できたのではなかったかなと思っています。

それと一つ、お訪ねしますが、私の会社の裏の農地ですが、数年前に農業委員だと思いますが、2 人くらい訪れてきて、ここを買いませんかということがありましたが、1 回きりでそれ以来何もなかった状態でした。そのころは田んぼでしたが、現在は牧草地になっているので、そういう土地を買えば、冬場に排雪場として利用できると思っていたのですが。

そういう土地は、農家でないと購入できないのでしょうか。

(辻脇課長)

農業委員さんが伺ったのかは分かりませんが、基本的に農地については、農家の方でないと買ったり、借りたりはできないことになっていますし、現在も耕作者がおりますので、そこを購入することは、難しいと思います。

(横山課長)

さくら祭りについてですが、その場所だけで盛り上がるということはもちろんですが、経済効果というものも考えていく必要があると思っています。

今回は、観光協会の主催となって商工会と町が一緒になって、商店街にお金を落としてもらおうという狙いもありました。

ですから、山で配布したクーポンを利用して食べてる方もいらっしゃいました。

今後も検証を行いながら、プラスアルファをしていくことが必要なかなと思っています。

(太田委員長)

大変申し訳ありませんが、時間が押しているものですから、この後の説明を先にしていただきまして、その後にもた戻したいと思います。

それでは、まちづくり課の部分についてよろしく願いいたします。

地域に根ざしたまちづくりのために(1) みんなが主役のまちづくりの推進 37 ページ ～(3) 広域的な連携や交流の推進 40 ページ

【まちづくり課 井上主幹より説明】

(委員長)

それでは、3つの部分すべて合わせて質問や意見等をお願いしたいと思います。

(委員)

質問が少し重複してしまうんですが、土地改良事業で対象になっていない地区については、どうなのかなと思っていましたが、以前したところは後回しというのが現状だと思うんですが、瑞穂だとか大和だとか白山地区の方はそれを知っているのかなと思いました。

それを知ってて要望を出していないのか。

ただ、要望してからすぐに対象にならないというのであれば、なるべく早めに要望を出しておいた方がよいということ saying あげた方がよいと思ったんですが。

あとは、さくら祭りに実際に行きましたが、第1展望台を越して第2展望台に行ったんですが、モンスターウルフ君がいなかったんで、第1展望台に戻ろうしたら、戻れないと言われました。

早朝だったのでこそっと戻らせていただきウルフ君を見れましたが、もう少しウルフ君の場所などをPRすればよかったのではないかなと思いました。

私の勤務先は滝川だったのですが、勤務先の方にウルフ君がいなかったと言われました。

せっかくの目玉が見れなかった方もいますので、来年はもう少しPRしたらよいと思います。あとは、露店がないんだねとも言われました。何か、食べるものとかあると思っていたと言われたので、今後行う予定であれば寒い時期でもあるので、あったかいものでもあると、例えば奈井江はピザとかたこ焼きとかお祭りで人気のメニューもあるので今回みたいに町外からのお客さんが来る機会にもっとやれたらいいかなと思いました。

クーポンが配布されていたのですが、それを集約されたのでしょうか。その状況が今日聞けるのかなと思っていましたが、その結果を踏まえて、良かったところ、悪かったところをそれぞれ今後活かしていけばよいかなと思いました。

(委員長)

私の方から回答させていただきますが、モンスターウルフについては、個人で設置したので、看板が設置できませんでした。

露店の件については、私たちも言われましたが、逆に何もないお祭りも良いという方もおられま

した。どっちが良いかは、今後検証していく部分だと思っています。

クーポンの件については、例年の10倍から20倍の売り上げがあった店もあったようですが、その辺のPR、今年も横山課長、谷口係長と札幌でPRを行ってきましたが、今後もしっかりやっていかなくてはならないと思っています。

(委員)

お米のことにに関して、私も1年間分まとめて広報を見させていただき、親会社に奈井江町がこうなっているというトピックスを紹介していたんですが、実はこの3月まで親会社の伊丹市に行っていたのですが、3,000人くらいの事業所ですが、そこで北海道米を使っているという小さな看板だけあるのですが、これがJA新すながわのお米だということが紐づいている者が少ないと思います。

これがすごくもったいないと思ったのと、実際にそこにお勤めしている方に聞いてみると、お米変わってからすごくおいしくなりましたという感想も聞きました。

これを奈井江町と結びつけて、注文してみようかなというような動機付けになればいいなと思っていました。

それと、そこには大きなグラウンドがあり、よく即売会をやっていたので、もしブースを出してよいとのことであれば、これも一つの契機になるのかなと思いました。

お米でなくてもトマトジュースとかほかにもいろいろあると思いますが、要するに、住電を利用して親会社まで販路を拡大できればと思っていました。

それから、さくら祭りですが、私も後半に携わって少し寒かったですが、お客さんが良く言われていたことが、何か温かい飲み物が無いのかということでした。

確かに、お肉を焼いて云々というよりも静かに見てもらう、その中でドリンクくらいあっても良いかなと感じました。「さくらまんじゅう」も非常に好評で芝桜まつりでも扱ったのですが、会社に問い合わせがあったり、自分も近所に配ったりしましたが、非常に好評でした。季節限定というのも良いと思いますが、もう少し長い間販売してもよいのかなと思いました。

あと、まちづくり関係としては、以前、会社で移住や定住について話し合う機会がありましたが、我々の会社には800人くらいの社員がいるのですが、その2割程度しか奈井江町に住んでいないという状況です。

私もそうだったんですか、あまり情報を知らずにいたので、あまり奈井江町に住もうという選択肢が頭にありませんでした。そういうことがありましたので、うちの工場内で、もっとPRしてもらってもよいのかなと思っていて、例えば、移動図書と併せて年に2〜3回程度PRしてもらったりすると、そういう思いのある社員と結びついたりすると思いますので、そんなこともやってみることも検討してどうかなと思いました。

(横山課長)

さくら祭りの件ですが、良いところ、悪いところ、いろいろあったと思いますが、改善すべき点、より伸ばすべきところを検証して今後に活かしていくべきだなと思っています。

(井上主幹)

せっかくよいご提案をいただきましたので、ご相談させていただきながらぜひ活用させていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

(委員)

はじめて参加させていただきまして、少し酸っぱい言い方になりますが、この10か年計画を見て、何年先を見据えて、この町をどうしたいのか今一つ見えない。

奈井江町はこの先どのくらいの人口でどうしたいのかというビジョンを明確にしないと移り住んでこないのではと思います。

僕も、昨年からここに住んでいますが、5年先10年先を見据えたときに町がなくなっちゃうんじゃないかなと思うことがあります。

お金の話とか施策の話もありましたが、観光としてにわ山公園の話もありましたが、「人を呼び込む手段」と「人を定住させる手段」とは違うと思っています。

にわ山の公園とか体育館とかすごく立派な施設がありますが、そういうものを活かして、例えば、国体を開催するとかそういう活動をしたらよいと思いますし、一方で人を定住させるには、農業とか工業とかの話になると思いますが、そこをどう伸ばしていくか、住電さんを利用したり、それらを明確にしていけばもう少し違う戦略になるのかなと思いました。

奈井江は、福祉のまちということで、すごく充実していますが、近隣を見たときに、新十津川町とかも同じようなことをしていると思うので、その中で奈井江町の特徴が何かが見えないということもあります。

私は、ここに来る前に茨城県いたのですが、北海道という話をしたときにやっぱり「食べ物おいしいよね」とか「自然が多くていいよね」とかと言う方がいましたが、北海道で出てくる名前はというと、札幌、旭川、函館です。

多分、北海道でも奈井江町という名前を知っている方はそんなに多くないのでは?と思っています。

PRの手段としても、テレビCMなどにも1回お金をつぎ込んでみるとか、北海道新聞の広告に掲載するとか、そういうものもあってもいいのかなと思いました。

いろいろ言いましたが、もう少し人呼び込むことをしていかなないと、奈井江町の未来はないのかなと感じました。

(委員長)

率直な意見を聞いて真摯に町側が受け止めてくれればいいかなと思います。

(碓井参事)

皆さんから貴重なご意見をいただいて、まさしく定住と呼び込みというのは違って、その戦略が重要だというのはおっしゃるとおりだと思います。

それで、今日ご議論いただいたまちづくり計画については、10年間の基本計画を作って5年ごとに前期、後期を分けて、これを隅々まで対応した総合的な仕事の中身をより詳しく書き込んでこれを実行していきましょうというのがこの計画で、それと3年ほど前からよく聞かれるようになった地方創生、この戦略というのものが町でも他の町の同じように策定しました。

この戦略は、人口減少社会において、みんな同じで何もしなければ人口がどんどん減っていくという、単純に町が寂れていくということではなくて、構造的にそういう状況になっていくので、それぞれ知恵を出していこうというような形で各組織代表者に集まっていただき、戦略を練ってこれを行っている最中であります。

この戦略の中心がまさに住電精密の部分で、当時も社員の定住比率が3割程度でありましたが、町外の通勤者を何とか奈井江に住んでもらおうということを戦略立てて、その枝葉として分譲地を作ったり、アパートや新築住宅の助成をしたり、子育て世帯が住みやすいように保健事業を組み合わせで戦略を策定しました。

ですが、地域の中で人口の奪い合いになるということで、道庁からは指摘を受けたところでしたが、奈井江町としては、立派な企業などの資源があること、農業も全道トップクラスの技術があるわけですから、その農業を守っていくなどの柱を掲げながら、そこに繋がっていく小さな施策をいろいろしながら進めているのが実態です。

そのことを知らない住民もおられますので、そこをわかりやすく紹介してたくさん利用していただくということをやっていかななくてはならないなと思っています。

貴重な意見をありがとうございます。

(委員長)

それでは、相当時間がたってしまいましたので、この議題については、終わりにしたいと思います。すがよろしいですね。

それでは、その他いきたいと思います。

6. その他

(井上主幹)

時間が押してる中大変申し訳ございませんが、1点だけ申し上げさせていただきます。

中空知定住自立圏共生ビジョンの策定や見直しに対し、意見を聴取するための会議（懇談会）の委員として、三原委員と中村委員にまちづくり町民委員会からの推薦者としてその会議にご出席していただいていたところですが、本年３月末でその任期が終了し、改めて懇談会委員を推薦していただきたい旨の依頼が事務局からあったところです。

４月以降の選出にあたりましては、従来と同じ産業と福祉分野で委員を選出いただきたいとのことでありましたので、事務局案として、引き続き、産業分野で三原委員、福祉分野で中村委員を推薦いたしたく、ご提案させていただきます。

この件につきまして、ご協議くださいますようお願いいたします。

（委員長）

断る理由がないと思います。よろしくお願いいたします。

皆さん、よろしいですね。

（碓井参事）

１点だけ情報提供です。

実は、先ほどお話しした地方創生の有識者会議の中の委員さんからの発言でカントリーサインを設置してから２０年ほど経って、そろそろ変えた方がよいのではということがありました。子どもたちや住民の方にも意見を聞くという方法もありましたが、調べていくと、いろいろ縛りがあり、色の種類や他の町と同じようなものはだめだとか、ありましたので、町で案を作成して農協・商工会と相談しているところで、やっと入り口のところにきたという感じです。

デザインをここでお諮りするという性質のものでもないので、ここで提示することはできませんが、もう少し進んだ段階でお知らせしたいと思います。

6. 閉 会

（委員長）

それでは、大変長い間ありがとうございました。

私、今回の委員会で感じたことは、奈井江町の工業製品出荷高は空知で２位、そして、農業は全道トップクラス、そして、観光のさくら、これほどポテンシャルのある町はないと思いますが、それを活かしきれないPR不足の部分については非常に強く感じたところです。

皆さんの貴重な意見をしっかりと繁栄していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

本日は、ありがとうございました。